



祇園学区 社協だより

令和8年1月

第75号

発行
祇園学区社会福祉協議会
編集・広報部

令和7年の敬老会は、10月25日(土)午後2時より、祇園小学校体育館にて開催されました。今年度から80歳以上の方へのご案内となりましたが、多数の方に参加いただきました。

本年も参加者の方々にお祝い品と祇園保育園・清心幼稚園児手作り贈り物、祇園小学校児童の手紙が渡されました。

式典の部は「君が代」斉唱の後、祇園学区社会福祉協議会堀江正憲会長の挨拶で始まりました。続いて、来賓の安佐南区長高石実様

高齢者への尊敬と感謝
敬老会

謹賀新年



が市長祝辞を代読され、祇園小学校岡重郁代校長先生と市議会議員椋木太一様より祝辞をいただきました。

敬老会によせて、祇園中学校の空響輝君と林紀奈子さんの作文発表があり、会場よりの盛大な拍手で式典の部を終了しました。

(お2人の作文は次頁に掲載)

祇園中学校下田浩城教頭先生よりの挨拶で、日頃の感謝の気持ちを伝えられ余興が始まりました。祇園小学校3年生92名の児童たちが「森の子もり歌・聖者の行進(リコーダー演奏)・世界が一つになるまで」を元氣いっぱいにつけてくれました。

続いて、山内龍児&吉永菅子によるタンゴで「ロマンス」ワルツの「エバーソング」を披露されました。水真流清心吟詠会武田山支部は、詩吟「立山を望む」を吟じられました。次に、広島経済大学アカペラサークルBBQで「レイニー

ブルー・あしたはきつといい日になる」自分たちの声だけで美しいハーモニーを表現されました。日東流広島剣友会より、2人の方が「厳島」「しきしまの」を舞われました。猫じやらしのお2人によるウクレレ演奏に合わせて「リング

の唄・青い山脈」を楽しく歌いました。祇園に残していきたいと、願いを込め祇園音頭保存会による「祇園音頭」で余興終了となりました。

最後に北下地区の椋木太一様より、謝辞を述べられ敬老会は無事閉会となりました。



令和7年度地区別長寿者数 (80歳以上)		
地区	長寿者数	参加者数
上	223	57
中	76	19
下	235	65
北上	106	44
北下	197	77
青原	173	53
合計	1,010	315



中学生の作文



祇園中学校3年

空 響輝

いつも私達のためにボランティア活動をしてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。私達が小学一年生の頃から登下校時の見守りをしてくださり、私達は安心安全に学校生活を送ることができています。

小学校高学年になってからは、緑のベストを着たおじちゃん、おばちゃん達があいさつしているだけではなくて、私達が知らないところでも私達のため、地域のためと思ってしてくださっていることがありと知り、私はとてもうれしく思いました。他にも私達が話しかけたときは笑顔で昔あった出来事を話してくださったりして親しく感じら

れるようになり、毎日笑顔で登下校できています。皆さんの話には長年の経験で培われてきたことや「〇〇」ということがあったんだよ。」という体験談などのさまざまな話を聞き、へえ、こういうことがあったんだなと思うと同時にこうすればいいのかなどたくさん学べることであります。その話の中でいちばん心に残っているものは昔の遊びについてです。小三のころ、ボランティアの方と交流する機会がありました。どの方も丁寧に説明してくださり、みんなで楽しく竹とんぼやこま遊びをすることができました。

改めて、私達の生活を支えてくださり、本当にありがとうございます。お体には十分、気をつけられ、元気できてください。これからもどうぞよろしく願います。



学び、仲間と共に成長できる環境づくりに努めております。地域の皆様の見守りや励ましが、生徒たちの安全安心と自信につながっていることを、改めて深く感じ感謝申し上げます。

近年、社会の変化は著しく、子どもたちを取り巻く環境も大きく変わってきています。その中で、学校と地域が手を携え、子どもたちの健やかな成長を支えることが、ますます重要になっております。祇園中学校では、地域行事への参加や防犯活動などを通じて、学校と地域の絆を強める取り組みを続けております。

今後、地域の皆様と共に「安全安心で、笑顔あふれるまちづくり」に貢献してまいります。と考えております。



祇園中学校教頭

下田 浩城

祇園中学校に教頭として

赴任し、2年目を迎えた下田浩城と申します。日頃より、祇園中学校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年度も「人間力を高める」を学校教育目標に掲げ、日々の授業や学校行事を通して、生徒一人ひとりの成長を支える取り組みを進めてまいります。

中国最大の生徒数1200人、教職員数130人で日々の祇園中学校を運営しております。生徒たちが毎日笑顔で登下校できるのも、常日頃から地域の方々が安全安心なまちづくりに取り組んでおられる努力のおかげだと思っております。中学校生活3年間は、思春期を迎え、時には大人に対して反抗的な態度のこともあります。地域のアたたかい見守りやお声かけによって、生徒は自ら修正していくことと信じております。これからも、生徒が安心して学び、地域に根ざした祇園中学校を目指してまいります。今後も変わらぬご支援を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



祇園中学校2年

林 妃奈子

皆様、こんにちは。私は祇園中学校の林と申します。生徒を代表しまして皆様にご挨拶をさせていただきます。本日、お忙しい中、お集まりいただきまして皆様。私は、皆様の、お元気そうなお顔を拝見できて本当にうれしい気持ちで一杯です。今日の敬老会を心よりお祝い申し上げます。皆様お一人お一人激動の時代の頑張りがあつたからこそ、今のたくさんの笑顔に、幸せにつながっていると思います。深く感謝しています。最後になりましたが、今日のために、心を尽くしていたいただきました皆様にお礼を申し上げます。皆様のご健康とご多幸を願いつつ、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

広島市内の小学校6年生を対象に意見文を募集、令和7年度は10465名の応募がありました。その中から20点が出選、意見発表会が開催され、審査により、ピースサミット大賞2名が代表となります。

8月6日平和記念式典「平和への誓い」こども代表になつて

そのこども代表になつた祇園小学校6年の佐々木駿さんに聞いてみました。



▲平和への誓いを発表した時の気持ちは

始めはとても緊張していた、少し声が出にくいくらいでした。でも、みんなに平和の大切さについてわかってほしい、また、戦争が終わったとしても、その人に残る苦しみは一生続くということも伝えたいと思

「あいさつ



祇園中学校校長

森田 真伸

私はこの春、本校に着任いたしました校長の森田真伸と申します。

日頃より、地域の皆さまが子どもたちの健やかな成長を見守ってくださっていることに、深く感謝申し上げます。皆さまは長い年月にわたり、この地域を支え、次の世代を育ててこられたことと思います。その皆さまの歩みには、言葉に尽くせない重みがあります。子どもたちが安心して学び、成長していけるのも、皆様が築いてこられたこの地域の土台があつてこそです。

本校の学校経営理念は「地域に根ざし、地域を愛する心を育み、知・徳・体のバランスの取れた実践を

いました。

▲駿さんの考える平和とは

もちろん戦争がないことだと思ひますが、誰もが安心して、楽しく笑って快適に過ごせる世界が平和だと思ひます。そのためには、小さいことでも、相手の良いところ悪いところも認め、相手の違いを良さとして捉える、相手の人をしつかり受け入れることだと思ひます。

▲相手の人を受け入れるとは

例えば、よくおしゃべりする人がいたとしたら「自分の主張をするのが上手だね」という風に捉える、苦手だなと思つても、少しずつ関わっていけば、その人の良いところを見つけてられたり理解できたりする、その関わりが小さな平和だと思ひます。

▲小さな平和を広めていくためには

僕は平和記念公園で外国の人に英語でのボランティアガイドをしています。日本だけでなく世界中の人にも広島のことを知ってもらいたいからです。小さい頃、原爆ドームを見て、どうして建物はボロボロなの



祇園中学校教頭

後藤 浩一

祇園中学校に教頭として赴任し、3年目を迎えた後藤浩一と申します。本校は、「誠実」「勤労」「奉仕」の校訓のもと、「人間力を高める」を学校教育目標に掲げ、日々の授業や行事を通じて、生徒一人ひとりが主体的に

活かし、社会に貢献できる生徒の育成を目指す」です。この理念をもとにすべての教育活動を日々実践しております。その中でも重要だと考えている一つに、家庭、地域との連携を一層深めるということ。子どもたちが将来、皆さまのように地域を愛し、地域の人に信頼され、地域に貢献できる人間に育つよう努めてまいります。

皆さまのこれからのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

にそのまま残っているんだろうと思つて、母と一緒にインターネットや資料館の中に入って調べてみると、広島に原爆が落とされたことを知り、びつくりしてとてもショックでした。ガイドの始め頃は、世間話程度の自分の知っていることを話すくらいだったけど、外国の人に質問された時に答えられなかったことが悔しくて、その質問について調べていきだんだん知識を増やしていききました。外国の人の質問に答えていたら「ありがとう」「なるほどね」という言葉を聞いた時に、良かった、聞いてくれたんだなと思ひました。

▲ボランティアガイドを始めたきっかけは

僕は人見知りの無い性格で、外国の人と話すのが好きで、英語上達のためにも平和公園で話す機会を作りたいなと思つたことからです。

▲祇園の町の人に伝えたいことは

自分の身の回りの人と違いを認め合つて仲良く楽しく過ごしてほしいです。身近なところからそのことを伝えていきたいと思ひます。



【長寿者インタビュー】
大下 昭さん
祇園一丁目(91歳)

年輪ばんざい!!

健康への心掛けは

何でも食べることです。目も悪くなり、足も弱ってきたので、歩くことで足を鍛えています。

これまでで一番の思い出は

今はお母ちゃんが施設に入所しているけれど、お母ちゃんと仲良く生活し

ていたときのことです。

趣味は何ですか

音楽を聴くことです。カセットテープで演歌をよく聴いています。

次の世代に伝えたいことは

わが身のことでなく、地域に貢献してほしいです。

後期高齢者の仲間入りをして

青原地区

中野 洋子さん

約30年位前から、経験のない人でも簡単に洋服が作れる教室を今も続けています。長い年月の中で、色々な世代の生徒さんと世間話等しながら楽しい毎日を過ごしている中で、時間を作り、趣味や旅行等で忙しく過ごしています。たまに疲れて、自分が歳をとっていることに気づき反省、でも、この日常を変えない私です。

人生100年時代と言われますが、残りの人生を

考えると目前に来ていると感じます。歳を忘れ、元気なうちにもっといろいろな経験、体験をしたいと欲張っています。

人と会って、無理のない運動も足腰元気でなくては楽しめない、自分に余りストレスを感じさせない過ごし方、人から見れば、わがままな人生かもしれませんが…

そんな日常を見守り送らせてくれる家族、健康な体に生んでくれた両親に感謝しながら過ごしています。



第20回 広島経済大学 祇園・興動祭開催

令和7年11月16日に

第20回 祇園・興動祭を開催しました。

今年度で祇園・興動祭は20周年目を迎えました。

「二重縁〜これまでのつながりを深めると共に新たなつながりを〜」というテーマを掲げ、これまでのプロジェクト活動や興動祭で培ったつながりをより深くし、興動祭をきっかけに新たなつながりを形成したいという2つの想いを込めて活動しました。

当日に向けて、子どもから大人の方々まで幅広く楽しんでいただくことができるように企画し、お化け屋敷を始めとした、射的や迷路、ステージでは、ケイダイジャーのヒーローショーや音楽公演などを行いました。

お天気にも恵まれ、約4000名の方にお越しいただき、つながりを強く感じることができた。



お祭りとなりました。

開催にあたり、ご支援とご協力いただきました地域の皆様には御礼申し上げます。

喜びの表彰

安佐南区社会福祉協議会会長表彰

密林 久志氏
牧原 昌史氏

赤い羽根共同募金

10月1日、イオンモール出入口にて赤い羽根共同募金のお願いに立ちました。

たくさんの方々にご協力を頂き、ありがとうございました。



これからもより一層地域とのつながりを深く、新たなつながりを形成していきけるよう興動祭実行委員会一同、尽力してまいります。(興動祭実行委員会さんより寄稿していただきました。)